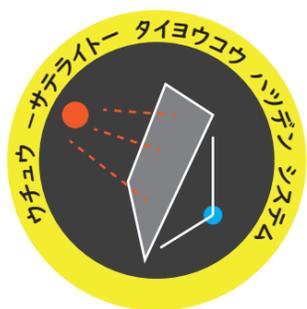


# 脱炭素社会実現に向けた 太陽光発電のポテンシャルと挑戦

9月18日(水) 11:00 ~ 18:00

北海道大学 札幌キャンパス

—電力を越えて、移動体、建物、さらにその先へ—



世界の太陽光発電 (PV) は累積導入量が約 500GW (0.5TW) に達し、基幹電力となりつつあります。PV は急激なコスト低減によって世界各地で最も安価な電源となり、地球温暖化対策の緊急性からも更なる普及が期待されます。しかし、PV の役割は電力用途にとどまるものではありません。自動車等の移動体や、ZEB(ゼロエネルギービル)、ZEH(ゼロエネルギーハウス)、熱供給などの新しい市場に対しても低コストなエネルギーを供給できる能力を秘めています。本シンポジウムは、PV の新しい用途に関する研究の第一人者の先生方の講演と質疑応答を通じて、PV に求められる新しい役割を把握し、PV の新用途に必要な技術課題の抽出と、今後の研究の方向性や役割を聴講者と共有できる機会にします。

テラワット PV 時代の到来はすぐそこです。



## 招待講演者 / 講演題目 (予定)

植田 譲 (東京理科大学) 太陽光発電の導入障壁と将来展望 (仮)

静 敏志 (トヨタ自動車) ソーラー充電システム 一実使用環境での効果検証一

山口 真史 (豊田工大) 車載太陽電池開発の現状と将来展望 (仮)

梅田 和彦 (大成建設) ZEB における太陽光発電の役割と期待 (仮)

杉本 広紀 (昭和シェル) 高効率薄膜太陽電池の開発と新分野への展開

前田哲彦 (FREA) ゼロエミッションタウンを実現する  
BEMS 制御された水素エネルギーシステムの実証研究 (仮)

山田 明 (東工大) 30% 以上の超高効率を目指した CIS 系タンデムセルの開発 (仮)

高本 達也 (シャープ) 車載・宇宙・航空機電動化に向けた太陽電池の開発 (仮)

